

# くらす

a classy life in the town

第15号

No.15 Spring 2013/04

ふたりの夢がつまった、  
シンプルモダンのすまい。



「おもいっきり深呼吸できる家っていいですね」

横須賀市 吉井 I様邸 (2人家族・築約3ヶ月)

この4月で結婚1年半というI様ご夫妻。若いおふたりの夢がたくさんつまった家が昨年の暮れに完成しました。湘南山手の町並みにとけこんだ落ち着いた外観。扉を開けるとすぐに木の香りに包まれ、ムク板の床は足にも優しく、冬でもあったかです。

「友だちがお子さんのアレギーで心配しているのを見て、おもいっきり深呼吸できる家がいいなと思いました」と奥様。ご主人の実家のある横須賀に住まいを持つとうと決めてから約一年、休日に各社のモデルルームを見学したり、インテリア雑誌で研究。木の家の心地よさを感じ、こんな家に住みたいとふたりの意見が一致しました。

「私たちがこうしたいという希望を一番くみとって聞いてくださったのが斎藤工務店さんだったんです」。例えば玄関にこの素材を使ってみたいと、夢を話すと、営業担当で一級建築士の資格をもつ榎谷さんが「その素材はスベリやすいですよ」と現実を教えてくださいました。「二つひとつ希望を形にしてくれて、洗面台などの使いやすい高さもアドバイスしていただけました」。

奥様のお気に入り是对面式キッチンの壁。色むらのあるオレンジ色のイタリアのタイルがアクセントになり、南ヨーロッパの香りただようおしゃれなカフェ風のダイニングになりました。奥様お得意のイタリアンで、ワイン片手にお二人のくつろぎのひとつを演出します。二階の洗面台の壁面には貝殻のようにキラキラ光るタイル。女性らしいこだわりの洗面所が仕上がり、大満足です。



E



A



B



C



D



F

## Check! 齋藤工務店

齋藤工務店の手がける住まいには、ご家族が快適に、そして安全に暮らしていけるよう、厳選された各種材料に加えてさまざまな技術が隠されています。さあ、一緒にチェックしてみましょう!

よい木材の前提は、人の手が入った山で育つこと。と前号でお話しました。今回はその続きをお話しましょう。

### 変形して、強度が上がる?

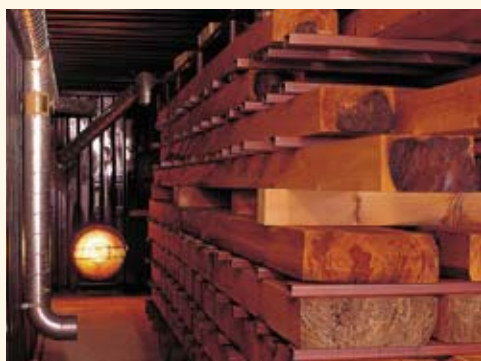
よい木材にするには、含水率という木に含まれる水分の割合がとても重要な鍵となります。山から切り出した直後の、水分を多く含んだ木材をそのまま住宅の材料として使う。一見、山の木をすぐに使えば丈夫な家になりそうですが、実は大きな間違い! 木は、水分が抜けてしまうと変形を起こしますが、しかしそれによって強度が上がるという性質があるのです。

### 含水率にこだわって

木材は水分が減少すると細胞が固化し、それが構造体となり強くなります。一般的に含水率が30%を切ると強度が増し、10%近くで最も強度が出ると言われています。水分が少なければ、強い木材ということになります。では変形にはどう対処しましょう? それにはあらかじめ仕上げ寸法以上に製材を行い、乾燥後に再度製材を行います。変形した箇所を取り除き、真っ直ぐな木材へと仕上げていくのです。

齋藤工務店では、構造体として使う材料は、含水率15%を目標としています。基準値を設ける事により、丈夫で長持ちをする家をつくることができます。

たかが乾燥、されど乾燥——。ここをしつかり押さえないと、つくり手として失格です。



こちらの記事のさらに詳しい情報は、弊社までお電話、メールにてお気軽にお問い合わせください。



A: ロフトが魅力の、開放的な二階の一室  
B: 大黒柱が印象的なリビング・ダイニング  
C: リビングから続く、小さな和室も用意  
D: 緩やかなカーブを描く二階への階段  
E: 明るい日差しが降りそそぐ! 様邸全景  
F: 二人の時間を大切に! 様ご夫妻  
G: ベッドルームにはロフトへの階段が  
H: 壁面のタイルにもこだわった洗面所  
I: 料理と会話を一緒に楽しむ対面キッチン



二階の寝室から階段で上り、二部屋分にまたがる広さのロフトはふたりのお気に入り。ここで読書をしたり、趣味の物をちらかしても気にならない、秘密基地のような空間が広がっています。

明るい陽射しがたっぷり入る二階の広いお部屋は、多目的に過ごす空間としてあえて家具は置かずシンプルに。「将来、子どもができたときのためにと考えています。今はここで主人に誘われてヨガを楽しんでいます」と奥様。さらにご両親が泊まりに来たことを考えて一階には和室も用意。リビングから自然につながる、畳が落ち着く空間です。

どちらかといえばアウトドア派の奥様に対し、インドア派のご主人。「事務所で打ち合わせの最中にふたりでケンカしたこともありました。三時間以上も粘って決めたり。みなさんよく付き合ってください」と思い出して笑うおふたり。「初めて家を建てましたが、大満足です」と愛情豊かなご夫婦の笑顔が印象的でした。

(取材・撮影…2013年2月)

## くらす なかま

会報誌「くらす」を発行している株式会社齋藤工務店。そこで働く方々を「くらすなかま」として編集部がご紹介しています。

—— 西山社長、こんにちは。3ヶ月ぶりの「くらすなかま」ですが、よろしくお願ひいたします。

西山 こんにちは、よろしくお願ひいたします。

—— 今回の「くらすなかま」では、現場で働く職人さんをご紹介いただけることですが…。



西山 ええ、今回は木造の住まいづくりの要、大工の棟梁 相馬次男をご紹介しますね。彼は昭和51年に福島から出て来て以来、長きにわたって大工の中心となって働いてくれている人です。今日はちょうど現場に出ていますので、インタビューしてみてください。

—— 分かりました。さて、棟梁と言えば現場では一番偉い方。編集部一同ドキドキで向かいます。

—— はい、住まいづくりの現場に到着です。相馬さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

相馬 相馬です。よろしくお願ひいたします。

—— 西山さんから伺ったのですが、ずいぶん長く齋藤工務店の現場で働いていらっしやるのか。

相馬 そうですね。22歳の時にこちらに出てきてからずっとですね。ちよつとのつもりが、横須賀の街が気に入ってしまい、もう37年ですか。

—— 37年！ その間お弟子さんもお二人育て、しかもそのうちのお一人は、齋藤工務店で現在棟梁をやつてらっしやるんですね。

相馬 ええ、そうですね。一人の職人を育て上げるには、5年以上の長い時間がかかりますので、私も相手も若かったですね。今もう一回弟子を育

てるとなると難しいと思います。でもきちんと二人を育てられたことはよかったですね。

—— なるほど。あの、インタビュウしていただいてありがとうございます。こちらは現場が綺麗なんですね。建築中なのもしっかり整頓されています。

相馬 ありがとうございます。ええ、それは私が常に気をつけている部分です。お客さんがいつ来られても綺麗な現場をお見せできるということ

は、我々の誠意でもあると思つていられるんですよ。

—— 自分が住む家の見えない部分にゴミが捨てられているかも、なんて考えたくもないですね。

さて、そんなふうに丁寧に建てられたおうちですが、施主様に完成した家を引き渡すときは、いつもどんなことを考えているのですか。

相馬 まずは大事に住んで欲しいな、ということですかね。木は生きていますので、やっぱり大事にしてもらわないと、せつかく建てた家もつた

いないですよ。そして、そんなお客さんから「棟梁、この家住み心地いいよ！」なんて言われると、すごく嬉しいですね。何年、何十年後かに、その

家をリフォームするの

もまた楽しみだなって

思つたり。まあ何十年後つてなると、さすがに私は引退してると思

いますけど(笑)。

—— どうもありがとうございました。穏やかな語り口の中にも、大工一筋の誇りがにじみ出ている

相馬さん。時折見せる笑顔が魅力的でした。

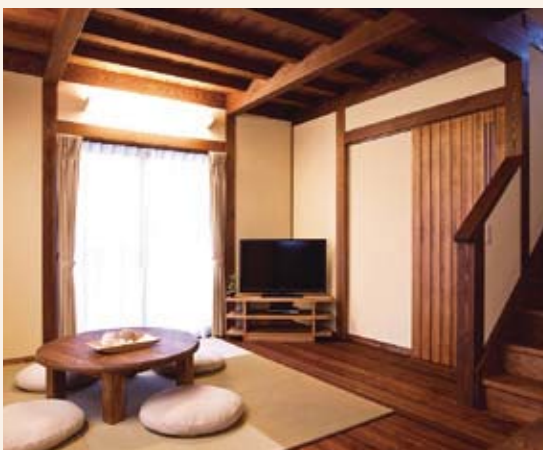
また相馬さんは西山社長よりも年下でありながら、齋藤工務店の職人になったのが3ヶ月早かつ

たため、お酒の席では先輩風を吹かせて自慢しているとか。「これだけは、どんなことをしても抜

かすことができないんですよ」とおっしゃる西山さんとのエピソードも「齋藤工務店らしさ」のひとつかもしれませんね。では、また次号で。



## 試着をするように住み心地も試したい…。体験宿泊可能な「郷の家」モデルハウスが本社すぐそばにオープン!



子どもの成長が刻まれ、そして自立したあと何年、何十年経つても思い出が残せるような住まい…。そんな木造住宅の住まいにこだわつてきた齋藤工務店の「郷の家」モデルハウスが誕生しました。

キッチンを使い実際に料理をして、お風呂に入って寝る、そんな本場の暮らしを、ご家族そろつて体験宿泊どうぞ。

お申し込み方法や条件などは、お気軽に弊社までお問い合わせください。

## 株式会社 齋藤工務店

〒238-0034 神奈川県横須賀市金谷2-2-1 TEL.046-852-3333(代) FAX.046-851-0034  
URL [www.saitou-koumuten.com](http://www.saitou-koumuten.com) Mail [info@saitou-koumuten.com](mailto:info@saitou-koumuten.com)

タイトルの「くらす」は、生活するという意味であり、横須賀を中心とするエリアに暮らす人々がひとつにまとまるという意味を込めた、英語のClassの意味でもあります。またClassには上品という意味があり、この会報誌もその意味にふさわしいものでありたいと願う気持ちを込めています。



くらす a classy life in the town 第15号

発行日：2013年4月1日

発行：株式会社齋藤工務店

編集：株式会社はまかぜ新聞社

デザイン：合資会社アイザックエレメント

巻頭撮影：藤江司人 (Isaac Element & Co.)